

長島誠一教授年譜ならびに主要業績目録

生年

1941年（昭和16年）10月5日 東京府東京市目黒区中目黒二丁目416番地（現、東京都目黒区中目黒一丁目4の6番地）で、父・長島隆一、母・なみ子の長男に生まれる

教育歴

- | | |
|----------|------------------------------------|
| 1945年 5月 | 東京大空襲で福島県石川郡浅川町に疎開する |
| 1948年 4月 | 福島県石川郡浅川町立浅川小学校に入学（1954年3月卒業） |
| 1954年 4月 | 福島県石川郡浅川町立浅川中学校に入学（1957年3月卒業） |
| 1957年 4月 | 福島県立東白川農商高等学校に入学（1960年3月卒業） |
| 1960年 4月 | 一橋学院（予備校）に入学 |
| 1961年 4月 | 一橋大学経済学部に入學（1965年3月卒業，学士） |
| 1965年 4月 | 同大学大学院経済学研究科・修士課程に入學（1967年3月修了，修士） |
| 1967年 4月 | 同大学大学院経済学研究科・博士課程進学（1970年3月単位取得退学） |

職歴

- | | |
|-----------|--|
| 1970年 5月 | 文部教官・一橋大学助手（経済学部，1971年3月まで） |
| 1971年 4月 | 関東学院大学経済学部，専任講師（経済原論，恐慌論担当） |
| 1974年 4月 | 同大学，助教授 |
| 1980年 9月 | 関東学院大学の国外研究員として，カリフォルニア大学・リバサイド校に留学（1981年3月まで） |
| 1982年 4月 | 東京経済大学経済学部助教授（経済原論I，景気変動論担当） |
| 1983年 4月 | 同大学，教授（2012年3月まで） |
| 1989年 4月 | 大学院経済学研究科主任 |
| 1992年 4月 | 入試委員長・入試本部長（1994年3月まで） |
| 1995年 4月 | 東京経済大学の国内研究員（1996年3月まで） |
| 1997年 10月 | 学長候補者推薦委員 |
| 1998年 4月 | 学生部長（2000年3月まで） |
| 2003年 4月 | 教員資格審査委員長（2005年3月まで） |

長島誠一教授年譜ならびに主要業績目録

2006年 4月	学校法人・東京経済大学評議委員（2008年3月まで）
2006年 4月	私学補助助成・教授会連合委員（2008年3月まで）
2009年 4月	東京経済大学の国内研究委員（2010年3月まで）
2012年 4月	東京経済大学名誉教授

非常勤講師

中央大学商学部（1971年4月～1973年3月）、名古屋大学経済学部（1981年、集中講義）、静岡大学人文学部（1982年、集中講義）、九州大学経済学部（1983年、集中講義）、一橋大学経済学部（1983年10月～1985年3月）、名古屋大学大学院経済学研究科（1985年、集中講義）、早稲田大学政経学部（1993年4月～1995年3月、1996年3月～2008年9月）、駒沢大学経済学部（2001年4月～2008年3月）、福島大学経済学部（2004年、集中講義）

所属学会・研究会

経済理論学会（1971年9月～、幹事：1983年4月～1985年3月、1998年4月～2001年3月、2003年4月～2013年3月、編集委員：2000年6月～2003年6月、2008年9月～2010年9月）

日本国際経済学会（旧国際経済学会、1971年9月～2012年3月）

経済教育学会（旧経済学教育学会、1985年4月～2012年3月）

独占研究会（1965年4月～、世話人：2002年4月～）

国際経済研究会（1971年9月～）

関係団体

日本学術振興会（科学研究費審査委員 2001年～2004年）

私学振興・共済事業団（学術振興資金審査委員 2005～2011年）

財団法人・嶋田学園理事（1974年～2013年3月）

主要業績目録

I. 著書

1. 『独占資本主義の景気循環』新評論、1974年11月、iv+287頁
2. 『現代資本主義の循環と恐慌』岩波書店、1981年4月、v+220頁
3. 『入門経済学講義』宣教社（東京教科書出版）、1989年4月、ii+152頁
4. 『景気循環論』青木書店、1994年12月、197頁
5. 『経済学原論』青木書店、1996年10月、282頁

6. 『戦後の日本資本主義』 桜井書店, 2001年10月, 347頁
7. 『経済と社会—経済学入門講義』 桜井書店, 2004年10月, 198頁
8. 『現代の景気循環論』 桜井書店, 2006年11月, 209頁
9. 『現代マルクス経済学』 桜井書店, 2008年4月, 419頁
10. 『エコロジカル・マルクス経済学』 桜井書店, 2010年4月, 238頁
11. 『社会科学入門』 桜井書店, 2010年9月, 214頁

II. 編 著

1. 『愛の軌跡』(長島由理子遺稿集1) 嶋田学園(非売品), 1974年11月
2. 『理により生きる』(長島由理子遺稿集2) 嶋田学園(非売品), 1975年2月
3. 『愛と真理とそして科学』(長島由理子追悼集) 嶋田学園(非売品), 1975年6月
4. 刊行委員会編『思い出の高須賀義博』ラビック, 1993年12月
5. 独占研究会『30年の歩み』(非売品, パンフレット) 1995年9月
6. 独占研究会『40年の歩み』(非売品, パンフレット) 2005年12月
7. 『独占研究会40年の歩み』(合併製本版, パンフレット), 2006年4月

III. 共 著

1. 経済理論学会編『現代資本主義と恐慌』(年報13集) 青木書店, 1976年(「国家独占資本主義と景気循環の変容」を執筆)
2. 関東学院大学経済学会編『経済学・経営学入門』新評論, 1977年(「マルクス経済学2」を執筆)
3. 佐藤金三郎・岡崎栄松・降旗節雄・山口重克編『資本論を学ぶ・4』有斐閣, 1977年(「競争論とプラン問題」を執筆)
4. 高須賀義博編『独占資本主義論の展望』東洋経済新報社, 1978年(「国家独占資本主義下の恐慌」を執筆)
5. 『経済セミナー・増刊 マルクス経済学のすべて』日本評論社, 1978年(「恐慌論—その現代的展開—」を執筆)
6. 関東学院大学『30周年記念論文集・経済学部』1979年(「恐慌論の方法論的考察」を執筆)
7. 種瀬茂編『現代資本主義論』青木書店, 1986年(「スタグフレーションの解明」を執筆)
8. 富塚良三・吉原泰助編『資本論体系9-1 恐慌・産業循環(上)』有斐閣, 1997年12月(「現代資本主義の循環と恐慌」を執筆)
9. 富塚良三・吉原泰助編『資本論体系9-2 恐慌・産業循環(下)』有斐閣, 1998年2月(「スタグフレーションに関する諸学説」を執筆)

10. 経済学教育学会編『大学の授業作り』青木書店, 1998年4月(「経済原論の講義風景」を執筆)
11. 渡辺雅男編『高島善哉 その学問的世界』こぶし書房, 2000年(「未完の社会科学」を執筆)
12. 森岡孝二・杉浦克己・八木紀一郎編『21世紀の経済社会を構想する』桜井書店, 2001年5月(「緑の社会主義」を執筆)
13. 経済理論学会編『日本資本主義の混迷を問う』(年報第40集)(「日本資本主義の危機と改革」を執筆, コメントとリプライを含む)

IV. 訳書

ハワード・シャーマン著『スタグフレーション』新評論, 1979年9月, 277頁

V. 論文

1. 「特別剰余価値と社会的価値の成立機構」『一橋論叢』第60巻第1号(1968年7月)
2. 「過剰能力と資本蓄積—過剰能力の経済学的考察—」『一橋論叢』第62巻第3号(1969年9月)
3. 「独占資本の操業度調整と投資行動(1)」『一橋論叢』第65巻第5号(1971年5月)
4. 「独占資本の操業度調整と投資行動(2)」『一橋論叢』第66巻第1号(1971年7月)
5. 「宇野弘蔵氏の段階論の方法」『一橋論叢』第66巻第2号(1971年8月)
6. 「資本過剰概念の再構成と恐慌の形態変化」『経済系』第89集(1971年11月)
7. 「独占資本の操業度調整と恐慌の形態変化」『経済系』第90集(1972年1月)
8. 「景気循環論序説(1)」『経済系』第92集(1972年7月)
9. 「景気循環論序説(2)」『経済系』第93集(1972年9月)
10. 「景気循環論序説(3)」『経済系』第94集(1972年11月)
11. 「独占段階の景気循環」『経済系』第96集(1973年7月)
12. 「第1部門の不均衡発展の持続性と利潤率の低下」『経済系』第97集(1973年10月)
13. 「均衡蓄積軌道について」『経済系』第99集(1974年5月)
14. 「独占資本主義の循環機構」『経済系』第100集(1974年5月)
15. 「ラディカル経済学の模索」『現代の眼』1975年3月号
16. 「国家独占資本主義と景気循環の変容」『経済理論学会・第23回大会報告要旨』1975年
17. 「国家独占資本主義と恐慌」『経済研究』第27巻第1号, January 1976
18. 「戦後景気循環の特殊性について」『経済系』第107集(1976年3月)
19. 「長期停滞論視角から景気循環変容論視角へ」『経済系』第112集(1977年6月)
20. 「現代資本主義論の方法」『経済系』第120集(1979年6月)

21. 「アメリカのマルクス経済学」『経済系』第128集（1981年7月）
22. 「現代資本主義分析とカール・マルクス」『東京経学会誌』No.134（1983年12月）
23. 「アメリカ・マルクス経済学の動向と特徴」『書斎の窓』No.331（1984年2月）
24. 「現代資本主義の循環とスタグフレーション」『東京経学会誌』No.138（1984年11月）
25. 「現代資本主義の経済・社会・イデオロギー危機」『東京経学会誌』No.149（1987年1月）
26. 「経済学の研究と教育」『経済学教育』第6号（1987年）
27. 「景気循環の不均等発展モデル」『東京経学会誌』No.161（1989年6月）
28. 「景気循環の不均等発展モデル（補論）」『東京経学会誌』No.177（1992年6月）
29. 「景気循環と生産価格と価値」『東京経学会誌』No.179（1992年11月）
30. 「経済学体系と原論」『経済学教育』第16号（1997年3月）
31. 「20世紀末資本主義をどう解釈するか」『経済と社会』第9号（1997年秋季号）
32. 「未完の社会科学—高島善哉の遺したものは何か」『東京経学会誌』No.207（1998年1月）
33. 「生産力と生産関係とイデオロギー」『東京経学会誌』227号（2002年1月）
34. 「景気循環論の問題点」『東京経学会誌』No.229（2002年3月）
35. 「21世紀社会主義を考える」『QUEST』No.17（2002年1月）
36. 「日本資本主義の危機と改革（1）・（2）」『東経学会誌』No.233・234（2003年2・3月）
37. 「経済学の危機と社会主義」『QUEST』No.24（2003年3月）
38. 「オコーナーの危機論—新正統派マルクス主義批判」『東京経学会誌』No.237（2004年1月）
39. 「利潤率の成長循環と資本主義の存続条件」『東京経学会誌』No.247（2005年11月）
40. 「導入教育の実験」『経済教育』第24号（2005年12月）
41. 「『資本論』の現代化に向けて（序説）」『東京経学会誌』（経営学部）No.258（2008年3月）
42. 「成長の臨界点の可能性—GPI分析を中心として」『東京経学会誌』No.262（2009年3月）
43. 「『資本論』の現代化—『資本論』の真髓をどう学生に伝えるか」『経済教育』第28号（2009年9月）
44. 「特集にあたって—21世紀型恐慌と恐慌論研究の課題」『季刊経済理論』第47巻第2号（2010年7月）
45. 「社会システムとシステム統合」法政大学経済学会『増田壽男教授退職記念号』2011年3月

46. 「グローバル資本蓄積の矛盾とエコロジカル社会主義」『季刊経済理論』桜井書店, 第48巻第1号(2011年4月)
47. 「社会経済システムの転換としての復興計画(1)」『東京経大会誌』No. 273(2012年2月)

VI. 書評・学会報告・独占研究会報告・講演

〈書評〉

1. 柴田義人『現代資本主義の経済変動』(新評論)『経済系』第88集, 1971年8月
2. ハワード・シャーマン著『寡占経済と景気循環』(玉垣・吉家・平川共訳, 新評論)『経済系』第91集, 1972年3月
3. 井村喜代子『恐慌・産業循環の理論』(有斐閣)『経済研究』第25巻第2号, May 1974
4. 現代インフレ研究会編『現代世界のインフレーション』(有斐閣)『エコノミスト』1981年7月27日号)
5. 玉垣良典『景気循環の機構分析』(岩波書店)『週刊・東洋経済』1985年8月3日号, 『社会科学年報』〈専修大学〉1985年
6. 加藤雅『歴史の変動』(読売新聞社)『東京経大会誌』(No. 203, 1997年7月)
7. 角田修一編『社会経済学入門』(大月書店)『経済』2004年2月号
8. 平野喜一郎『はじめて学ぶ経済学』(大月書店)『経済』2005年10月
9. 中村泰治『恐慌と不況』(お茶の水書房)『季刊経済理論』第42巻第4号(2006年1月)
10. 高橋勉『市場と恐慌』(法律文化社)『季刊経済理論』第47巻第2号(2010年7月)
11. 除本理史・大島堅一・上園昌武『環境の政治経済学』『人間と環境』Vol. 37, No. 1(2011年3月)

〈学会報告〉

1. 「現代資本主義と恐慌」(経済理論学会第23回大会, 1975年10月)
2. 「これからの経済学教育」(経済学教育学会第2回大会, 1986年11月23日)
3. 「経済原論の教育」(経済学教育学会第12回大会, 1996年10月)
4. シンポジウム「高島善哉の学問の世界」(一橋大学佐野書院, 1999年5月30日)でコメンター
5. 経済理論学会第50回大会「共通論題・日本資本主義の混迷を問う」でパネリストとして報告・討論
6. 経済教育学会第20回大会・分科会で「導入教育の体験」報告(2004年12月5日)
7. 国際経済研究会(関東)で「導入教育と経済学の諸問題」報告(2004年12月11日)
8. 経済理論学会関東部会『『現代の景気循環論』をめぐって一論点を中心として』(2006年11月)

9. 国際経済研究会（関東）「『現代の景気循環論』をめぐって—蓄積モデルと数値解析を中心として」（2007年1月）
10. 経済理論学会第56回大会「『資本論』の現代化にむけて」（2008年10月）
11. 経済教育学会「『資本論』の真髄をどう学生に伝えるか」（2008年12月）
12. 経済理論学会第58回大会・共通論題「グローバル資本蓄積の矛盾とエコロジカル社会主義」（2010年10月）
13. 社会主義理論学会「エコロジカル社会主義の提起するものは何か」（2011年2月6日）

〈独占研究会報告〉

1. 1965年7月3日 「特別剰余価値論」
2. 1966年9月10日 「『平均原理』と『限界原理』について」
3. 1968年2月3日 「特別剰余価値論の問題点」
4. 1969年11月15日 「過剰能力と資本蓄積」
5. 1970年9月5日 「独占資本の投資行動の特徴の検出」
6. 1974年5月18日 「独占資本主義の景気循環について」
7. 1974年11月30日 「拙著『独占資本主義の景気循環』について」
8. 1975年9月20日 「国家独占資本主義と景気循環の変容」
9. 1980年5月24日 「スタグフレーションと恐慌の形態変化」
10. 1981年3月28日 「アメリカにおけるマルクス経済学の現状」
11. 1983年12月17日 「日本経済とスタグフレーション」
12. 1995年2月25日 「景気循環の理論と恐慌の形態変化論」
13. 2001年11月24日 「拙著『戦後の日本資本主義』をめぐって」
14. 2006年1月28日 「利潤率の成長循環と資本主義の存続条件」
15. 2008年12月20日 「『資本論』と現代資本主義分析」
16. 2010年6月26日 「エコロジカル社会主義について」

〈講演〉

1. 「現代の景気と恐慌—スタグフレーションを中心として—」（国分寺市・東京経済大学共催の市民大学講座，1986年10・11月）
2. 「現代資本主義の危機」（東京経済大学教職員組合主催の春闘学習会，1987年3月24日）
3. 「円高と物価」（小金井市婦人学級主催，1988年10月5日）
4. 「世界経済と日本の位置」（小金井市成人講座，1991年1月26日・2月2日）
5. 「現代資本主義の過去・現在・未来—経済波動の視点から—」（国分寺市市民大学講座，1991年7月6日）
6. 「環境問題と経済学」（東京経済大学教職員組合・夏季教研发習会，2010年6月16日）

VII. 解説・随筆・辞典・個人雑誌・パンフレット

〈解説・随筆〉

1. 「基礎経済理論 (1) 〈マルクス経済学入門〉について」『東京経済大学新聞』第 341 号 (1984 年 4 月 1 日)
2. 「シャーマンの『革新の政治経済学』」城塚登他編『立体式・世界の名著』自由国民社, 1984 年
3. 「はじめての図書委員」東京経済大学『図書館だより』1984 年 11 月
4. 「留学生・帰国学生の生活と意見」(座談会)『東京経済大学学報』第 20 巻第 2 号, 1987 年 6 月 1 日)
5. 「外房大原付近の文学地図」『輪』(東京経済大学教職員組合機関誌)第 128 号, 1986 年 6 月)
6. 「シリーズ・ゼミ探訪—長島ゼミ—」『としょかんだより』No. 36 (1986 年 12 月)
7. 「特色のある大学作りとは」東京経済大学教職員組合教研部『1987 年度教研報告集』1987 年 12 月 19 日
8. 「経済学教科書作り」東京経済大学教職員組合教研部『東京経済大学の教育の現状と問題点』1989 年 7 月
9. 「マルクス経済学を学ぶために」東京経済大学『講義概要』1990 年 4 月
10. 「真のポスト冷戦とは」『サンデー毎日』1991 年 3 月 10 日号
11. 『1992 年度入試白書 解説と政策編』(東京経済大学入試本部) 1993 年 2 月 (執筆)
12. 『1993 年度入試白書 資料編』(東京経済大学入試本部) 1993 年 9 月 (解説の部分執筆)
13. 「東京経済大学の推薦入試」『蛍雪時代』臨時増刊号 (1993 年 9 月)
14. 「学部個性化を進め世界に対応する教育を」『日本ドリコム』〈インタビュー〉1993 年 11 月号
15. 「幻と終わった第 2 の交流」『思い出の高須賀義博』刊行委員会編, 1993 年 12 月
16. 「入学試験の経済学」『スペース・1995』東京経済大学入試課発行, 1994 年 5 月
17. 「兎追いしかの山—思い出の浅川—」『在京浅川会会報』第 1 号
18. 「グリーン・レガッタ観戦記」『葵水』第 13 号 (1998 年 7 月 1 日)
19. 『答申 学生センター等の構想』(学生センター等構想検討委員会) の執筆
20. 「礼から始まり礼に終わる弓道を知る」『東京経済大学・弓道部 40 周年誌』2000 年 6 月
21. 「陸の王者たれ」『東京経済大学・陸上競技部 80 周年誌』2000 年 6 月
22. 「散華の人」東京経済大学教職員組合『輪』〈さよなら, 姫野脩先生〉176 号 (2002 年 5 月)
23. 「不条理と闘った一途の人」『河村隆二 追悼集』生活協同組合ナチュラルコープヨコ

ハマ, 2002年11月

24. 「杉浦克己さんと独占研究会」『杉浦克己と私たちの時代』桜井書店, 2002年
25. 「永遠の青年に乾杯」(三井大相教授の定年退職に送る, 東京経済大学教職員組合『輪』の退職特集号, 2007年)
26. 「部誌の活用方法」東京経済大学弓道部『部誌』復刊, 第1号(2007年2月)
27. 「夏合宿での挨拶」東京経済大学弓道部『弓道部便り』第2号(2008年2月)
28. 「独占研究会の報告 柴垣和夫さんの『グローバル資本主義』論」『もうひとつの世界へ』No.14, 2008年4月5日
29. 「Labor から Work へ」東京経済大学弓道部『弓道部便り』第3号(2009年2月)
30. 「エコロジーと人間」東京経済大学弓道部『弓道部便り』第4号(2010年2月)
31. 「創部50周年を記念してリーグ昇格を」東京経済大学体育会『飛翔』第35号(2010年2月)
32. 「箱根を越えてフルマラソンへ」『葵走会誌』(東京経済大学体育会陸上競技部 創部90周年記念特別号)2010年6月5日
33. 「次の半世紀をめざそう」『東京経済大学体育会弓道部 創部50周年記念誌』2010年9月
34. 「環境問題と経済学」(2010年6月16日)東京経済大学教職員組合・組織対策部・教研部『2009年度教研活動報告集』2010年10月25日
35. 「弓道部50周年記念祝賀会」『弓道部便り』第5号(2011年3月)
36. 「弓道部は永遠です」『弓道部便り』第6号(2012年2月)

〈辞典〉

1. 荒憲治郎・種瀬茂編『経済学用語の基礎知識』(有斐閣, 1974年)に30項目執筆
2. 種瀬・川鍋・深町・村岡編『マルクス経済学の基礎知識』(有斐閣, 1976年)に1項目執筆
3. 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典・第2版』(岩波書店, 1979年)に1項目執筆
4. 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典・第3版』(岩波書店, 1992年)に1項目執筆

〈個人雑誌〉

- 『科学・真理・愛情』第1号〈経済学概論, 長島由理子の遺稿集・追悼集に寄せて〉1976年6月
- 『科学・真理・愛情』第2号〈恐慌論解説1, 『独占資本主義の景気循環』をめぐって〉1977年5月
- 『科学・真理・愛情』第3号〈『独占資本主義の景気循環』をめぐって, 恐慌論解説2〉1978年1月
- 『研究と教育』第1号〈マルクス経済学入門〉1984年9月

長島誠一教授年譜ならびに主要業績目録

- 『研究と教育』第2号〈スタグフレーション論〉1984年10月
『研究と教育』第3号〈マルクス経済学入門・第1版〉1985年4月
『研究と教育』第4号〈恐慌論・論文集〉1985年7月
『研究と教育』第5号〈恐慌論の基礎的展開〉1986年2月
『研究と教育』第6号〈マルクス経済学入門・第2版〉1986年4月
『研究と教育』第7号〈ゼミナール・1985年度〉1986年7月
『研究と教育』第8号〈スタグフレーション論・第2版〉1986年10月
『研究と教育』第9号〈ゼミナール・1986年度〉1987年6月
『研究と教育』第10号〈マルクス経済学入門・第3版〉1988年3月
『研究と教育』第11号〈恐慌論の基礎的展開・第2版〉1988年8月
『研究と教育』第12号〈ゼミナール・卒業論文・1987年度〉1988年8月
『研究と教育』第13号〈ゼミナール・1988年度〉1989年10月
『研究と教育』第14号〈景気循環論講義ノート〉1991年1月
〈パンフレット〉
『独占資本主義と過剰能力』独占研究会資料No.1, 1969年
パンフレット『当面する学生問題 (1)』1998年7月
パンフレット『当面する学生問題 (2)』1998年12月
パンフレット『当面する学生問題 (3)』1999年7月
パンフレット『学生問題』2000年3月
パンフレット『高須賀義博の人と学問』2003年11月
パンフレット『独占研究会の記録 (1)-(12)』2003年12月
パンフレット『独占研究会の記録 (13)-(22)』2004年12月
パンフレット『独占研究会の記録 (23)-(66)』2008年12月